

「インド太平洋」の地政学

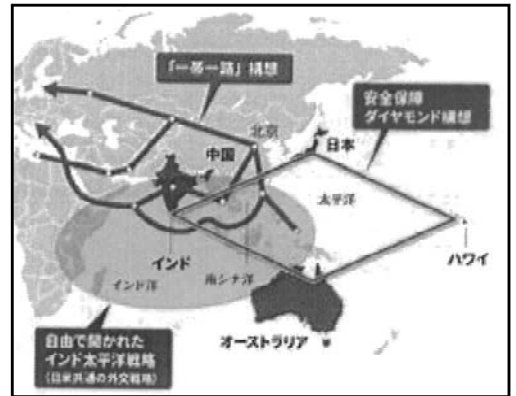
中国はなぜ覇権をとれないのか

オーストラリア国立大学教授・国家安全保障カレッジ代表

ローリー・メドカーフ 著

奥山真司・平山茂敏 監訳

A5判ソフトカバー450頁 本体 2,800円 ISBN978-4-8295-0827-5



ローリー・メドカーフ
外交、情報分析、シンクタンク、学者、ジャーナリストなどのキャリアを持ち、「クアッド」の早からの提唱者として知られている。

“自由で開かれたインド太平洋”の未来像とは……
強大な経済力を背景に影響力を拡大する中国にどう向き合うのか

コロナウィルスが世界中に蔓延し始めた2020年初頭に出版された
CONTEST FOR THE INDO-PACIFIC: Why China won't Map the Future の全訳版

- ※ 「インド太平洋」というアイディアはどこから生まれたのか、何を意味しているのか
- ※ インド太平洋地域において性急な拡張政策をとる中国の内在するリスクとは？
- ※ アメリカ・バイデン政権はパワーを維持することができるのか
- ※ インド太平洋というグローバル経済を牽引する地域のダイナミズムが2020年代以降の世界情勢にどのように影響するのかを、地政学的観点から説明する
- ※ インド太平洋地域を独占しようとする中国の挑戦に断固とした態度で臨むことの重要性を、国際政治、外交・安全保障、経済、技術など多角的観点から説く

2020年に話題となった
『目に見えぬ戦略』
『見えない手』
(ともに飛鳥新社刊)
と同様
オーストラリア発の
中国への警鐘本です



不信を抱きながらの会談：オーストラリアのジュリー・ビショップ外相と中国の王毅外相 (2017年2月)



安倍晋三首相とインドのナレンドラ・モディ首相はインド太平洋パートナーシップを打ち出した (2016年11月)

「本書は、2030年以降の世界の深層を流れる地政学的潮流をたどりながら、海洋にまたがる国際的な接続と競争の歴史を語るために地図を傾けて見よう、という本なのだ。…本書は戦争を奨励したものではない。いわゆる“反中”本でもない。むしろ多極化を支持する本なのだ」
(「日本語版まえがき」より)

■監訳者

奥山真司／国際地政学研究所上席研究員
平山茂敏／防衛大学校防衛学教育学群教授

■訳者

高橋秀行／海上自衛隊幹部学校
後瀧桂太郎／海上自衛隊幹部学校
長谷川淳／海上自衛隊幹部学校
中谷寛士／航空自衛隊幹部学校

1月中旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 12月17日(金)です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
「インド太平洋」の地政学		
1月新刊 本体 2,800円	部	